

平成28年度の事業報告

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人
いしかわ市民活動ネットワークセンター

1 事業の成果


石川県の委託事業を4年ぶりに受託することになり、県の担当者、石川県 NPO 活動支援センター担当者との情報交換が深まった年となりました。

また、金沢香林坊ロータリークラブ、助成財団センターといった新しいステークホルダーとの協働事業など、新しい試みを行うことができました。


2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関わる事項

1) 情報発信事業


1	事業名	情報発信事業		
	【事業内容】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる情報公開と助成金情報の更新 ・事務局短信 月18日～20日更新 <p>使用ソフト WordPress3.3 イベント用リンクページの開設 http://inetpo.com/</p>		
	実施日時	上記		
	実施場所	i-ねっと		
	従事者の人数	1人	受益対象者の範囲及び人数	一般、及びNPO関係者
	支出額	24,000円	事業の種類	自主事業

2) 交流促進事業



2	事業名	金沢香林坊ロータリークラブ社会奉仕委員会「通訳付きタクシー事業」		
	【事業内容】 	<p>あらかじめ予約制で、金沢東急ホテルに宿泊されている外国人旅行者を、10人乗りジャンボ大和タクシーに乗っていただき、約2時間、ライトアップされた金沢の夜桜をめぐるという企画。通訳には国際交流団体NPO法人YOU-Iの皆さんがi-ねっととタッグで乗車。ニュージーランド家族、スイス老夫婦など、4日間4組が金沢の夜を通訳付きタクシーで楽しまれた。</p> <p>その後金沢東急ホテルと大和タクシーのタッグ企画は、外国人観光客が金沢芸妓と触れ合う企画として、実施されたようだ。</p>		
	実施日時	4月4日、5日、6日、8日、いずれも 18:00～20:00頃		
	実施場所	東急ホテル～尾山神社～ひがし検番～蓄音機館～石川門～玉泉院丸庭園～いもり堀～犀川沿い～東急ホテル		

従事者の人数	延べ 5 人	受益対象者の範囲及び人数	4 組 12 人
支出額	223,022 円	事業の種類	一部助成事業

3) 相談・人材育成事業

3	事業名	助成財団シンポジウムin金沢「助成金の獲得のコツ学べます！」		
	【事業内容】 	<p>NPO支援財団研究会(事務局/(公財)助成財団センター)の全国持ち回り企画の北陸初セミナー。キリン福祉財団、損保ジャパン日本興亜環境財団など地元も含む8助成財団・組合の方々との意見交換会、北陸で助成事業を行ったNPO3団体の事例報告、「助成金の基礎を知る」基調講演などの半日企画。他に前日の8日、北陸の助成財団、企業向けの「学習会」もオプションで開催した。</p> <p>北陸から助成財団・企業に申請するNPO団体数は全国ワーストの部類に入るので、情宣活動は早くから開始し、約30人の参加を得ることができた。結果から、まだまだ、北陸の地での助成申請団体増の道は、遠いことを痛感した。</p> <p>東京から参加した助成財団関係者は、終了後に金沢名物を食され、満足度の高いおもてなしができたように思う。</p>		
	実施日時	7月9日(土)13:00~17:30		
	実施場所	金沢学生のまち市民交流館・交流ホール		
	従事者の人数	17 人	受益対象者の範囲及び人数	31 人
	支出額	31,812 円	事業の種類	一部助成事業

3) 相談・人材育成事業

4	事業名	平成28年度石川県NPO起業促進講座開催事業 「モリモリできるNPOきりもりセミナー」		
	【事業内容】  	<p>(1) 講座の目的・形態 従来の「聞くだけ講座」に改良を加え、受講前(ビフォー)と、受講後(アフター)の違いを事業成果として可視化することを目的とした。次に内容について、団体のレベルに応じ、段階的に参加のできるホップ、ステップ、ジャンプの各入口を用意した。2セミナー×各月1回開催=6コマの開催。</p> <p>(2) 前期 「やれる!資金調達」の開催 ①10月11日(火) ②11月9日(水) ③12月9日(金)いずれも19:00~21:00 講師 青海康男(i-ねっと) 古賀桃子(ふくおかNPOセンター) 講師延べ数 5人 参加者述べ数 22人</p> <p>(3) 後期 「できた!活動計算書」の開催 ④1月11日(水) ⑤2月10日(金) ③3月7日(火) いずれも19:00~21:00 講師 青海康男(i-ねっと) 中山雅人(税理士法人中山会計) 講師延べ数 5人 参加者述べ数 27人</p> <p>(4) 講座を通して気づいた点 会計の習得については、会計の概要についての個々の理解以降は、団体独自で解決したいことが分かったので、従来の「聞くだけ講座」でも十分と思われる。</p>		

	<p>一方前期の資金調達に必要な「伝えるスキル」(広報のやり方)については、今後も体験型は、チャンネルが合えば事業効果があると感じた。</p> <p>段階的な講座内容については、初回の基礎編のみを受講した方が前期、後期ともみられるが、「一回休むと先に進めない」とのお電話で欠席された方もあった。今回のような発展的連続性のある講座に対してのアンケートでは半数以上の方が「問題ない」と答えているが、講座の展開上、一回完結型の方がやりやすいと思った。</p> <p>最後に、ここまでしっかりの対面式講座は初体験だが、コーディネートスキルがとても必要なことと、ミスマッチ参加者への落としどころの設定を、瞬時に判断しなければいけなかったという、とても貴重な経験をさせていただいた。</p>		
実施日時	上記		
実施場所	石川県 NPO 活動支援センター「あいむ」会議室		
従事者の人数	延べ 16 人	受益対象者の範囲及び人数	N P O 関係者延べ 49 人
支出額	520,000 円	事業の種類	石川県委託事業

4) 研修派遣事業

5	事業名	第29回民間NPO支援センター将来を展望する会(C E O会議)	
	【事業内容】	<p>○テーマ「休眠預金をNPO支援センターとして、どう社会課題解決に導くか」</p> <p>10年間移動なく、持ち主のいない休眠預金が500～600億円程度発生していてこれの活用を行うための休眠預金法案が昨年の12月に成立。</p> <p>その活用をめぐって今年の5月頃に内閣府に審議会が立ち上がり、1年程度をかけて、基本方針を作成し、指定活用団体という資金分配の基本計画や資金分配を行う団体を選定。そこで、民間の立場から、休眠預金が有効に社会的な課題の解決につながるように検討し、審議会にも提案する「休眠預金未来構想プラットフォーム」が立ち上がり、「C E O会議」としては、有志からなる「休眠預金活用法に関するタスクチーム会議」をつくり、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 休眠預金活用法 研究会の立ち上げ 2. 知っておきたい休眠預金活用法 ブックレットの作成 3. 知っておきたい休眠預金活用法 講座・意見交換会の開催(全国各地) 4. 審議会等へのアドボカシー活動 5. 基本方針・基本計画に対するパブリックコメントの意見集約と発信などを検討することに。i-ねっとはこのチームに参加していません。 	
	実施日時	1月26日(木)13:30～18:00	
	実施場所	仏教伝道センタービル 8階和の間(東京都港区芝4丁目)	
	従事者の人数	1 人	受益対象者の範囲及び人数 i-ねっと関係者
	支出額	27,840 円	事業の種類 自主事業

(2) その他の事業に関わる事項

1	事業名	労働保険事務組合事業		
事業内容		NPOや企業に対する労働保険の事務事業		
実施日時		4月1日～3月31日		
実施場所		未正社会保険労務士事務所		
従事者の人数		1名	受益対象者の範囲及び人数	
支出額		5,864,932 円	事業の種類	自主事業